

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

524-577

事務事業名	道整備交付金事業(羽場坂中村線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	11	7	111,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み	関連計画 条例等		地域再生計画				
		事業期間	17	年度～	19	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	通過車両 (対象指標と数値は総括表参照)	自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			12000	14000		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	便利で安全に移動できる。(成果指標数値は総括表参照)	改良率(%)	18目標	67	最終目標	
			18実績	62	19目標	100
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	地域再生計画に基づいて地域の活性化に向けて道路改良・舗装工事等を実施。 羽場坂中村線(伊賀良運動公園通り) L = 2,000m W = 11.0m 舗装工事 H. 17～19年度	道路舗装工事 L = 1,000m W = 11.0m 交差点改良 用地買収・物件補償 工事施工L = 100m	工事施工延長(m)	1100
	18年度の実績			
	19年度計画	道路舗装工事 L = 660.0m W = 11.0m 交差点改良 工事施工L = 100m	工事施工延長(m)	760

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	35,000	55,500
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	14,000	52,725
	その他		
一般財源	21,000	2,775	
事業費計(A)	70,000	111,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 440	19年度 440
	臨時職員等所要時間	10	10
	人件費計(B)	1,584	1,584
	トータルコストA + B	71,584	112,584

特定財源内訳や補足事項	交付金補助率50% 合併特例債 95%
-------------	------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	スムーズ交通の確保(利便性の向上) (対象指標と数値は総括表参照)	歩行者の安全度(%) = (事業前の事故数 - 事業後の事故数) / 事業前の事故数 × 100	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
本路線は、国道153号線と県道時又中村線を結ぶ主要幹線道路であり、飯田運動公園や水引工場、ドライブイン、トラックのターミナルが多くあり、トラック、バス等大型車輛が頻繁に通行するため、路面の損傷が著しい。また、1級市道島垣外宮ヶ洞線と交差する三日市場交差点には、右折レーンがなく物損事故が多く発生し、通学等道路利用者に危険が生じている。これらのことから舗装改修及び付加車線の設置を行い円滑な通行を図りたい。	飯田運動公園や水引工場、ドライブイン、トラックターミナル等が建設されトラック、バス等大型車輛が頻繁に通行するようになった。	市民や議会からも改良に対する要望が強く早期完成を願っている。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 H17年度道整備交付金事業で実施する。本路線については、H19年度完成に向けて付加車線設置箇所の補償交渉も進める。 隣接する会社、施設と調整図るとともに他の機関とも調整を図り交通渋滞等最小限にとどまるように事業実施する。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	